

木材利用の活動報告

木質ペレット需要拡大へ向けた普及指導活動

胆振総合振興局 森林室 普及課 新谷幸政

取組の背景・目的

胆振管内には、木質ペレット製造工場が三つありますが、生産能力の3割程度しか生産されていない状況です。木質ペレットの消費拡大のためには、公共施設等においてペレットストーブやボイラーを導入することが重要と考え、市町村の林務、建設及び施設管理担当者を対象に木質ペレット見学会を開催しました。

取組の内容

木質ペレット見学会では、ペレットの製造工場から実際に使用しているむかわ町の町民センターボイラー、役場執務室のストーブを見学し、見学会前後にアンケート調査を行いました。また、役場職員30人に対し、ストーブ導入後における暖房比較のアンケートを実施し、ペレットの消費拡大への課題や方策について検討しました。

1 木質ペレット 見学会の開催

①ペレット製造過程見学



②ボイラー見学



③ストーブ見学



④消費拡大と必要性をPR



・見学会前のアンケート調査

・参加者の意識変化は？

・見学会終了後のアンケート調査



- ペレット使用の意義・必要性
- ペレットの消費拡大の課題
- ストーブ・ボイラー導入の問題点



2 役場職員へのストーブ利用実態調査

【調査のねらい】

- 利用している実態把握
- ペレットストーブ導入後の職員の意識変化を調査



【結果】

- 以前のスチームよりも好評
- 職員は「地場産業振興」のための使命感を持ちPRしている
- 役場自体がストーブのショールーム

検 討

今後の課題と展開

- ・ストーブ・ボイラーの価格が高い
- ・メンテナンスや耐久性への不安
- ・ランニングコストが高い
- ・見学会への参加者は施設管理担当者の出席が少なかった

- ・助成制度の有効活用とメーカー、関係機関と連携したコストダウンへの取組を支援しPR活動を実施
- ・ストーブメンテナンスや耐久性への不安の解消の方策を検討
- ・公共施設の管理担当や学校関係者など様々な職種に向けた見学会等の開催